

NEDO Pitch

第23回 “宇宙特集”

主催：国立研究開発法人 新エネルギー・産業技術総合開発機構

共催：オープンイノベーション・ベンチャー創造協議会

運営支援：有限責任監査法人トーマツ

開催日：2018年1月30日（火）

開催場所：NEDO Incubation Center (NIC)

ミューザ川崎 5F (NEDO 川崎本部)

プログラム：

18:00~18:15 開会、政策動向、テーマ概観等

18:18~19:30 NEDOピッチ5件

ピッチご登壇者概要	
株式会社ワースペース	<p>株式会社ワースペースは、小型衛星の開発と運用実績を有する筑波大発ベンチャー企業。人工衛星の設計開発、宇宙環境試験、人工衛星の打上げに伴う各種業務、打上げ後の運用やデータ活用まで含めた一気通貫の宇宙開発プラットフォームを提供。</p> <p>自社技術により低価格化を図り、様々な領域の企業・組織と協業し、人工衛星を用いた新規分野での宇宙利用を実現する。シード VC からの資金調達実施、経産省の補助金採択実績あり。</p>
インターステラテクノロジズ株式会社	<p>インターステラテクノロジズ株式会社は北海道大樹町に本社工場を構え、低コストのロケット打上げサービスを提供。開発対象のロケットは、高度 100km 以上の宇宙空間に到達する観測ロケット、超小型衛星（100kg 以下）を高度 500 - 700km の地球低軌道へ運搬する軌道投入ロケットであり、これまでも実証を行っている。本年、観測ロケット 2 号機打上げを機に本格的な商用化を図る。</p> <p>近年では総合商社・丸紅との業務提携や銀行等からの資金調達の実績がある。</p>
PD エアロスペース株式会社	<p>PD エアロスペース株式会社は、来るべき大量宇宙輸送時代に向けて、低コストで利便性の高い宇宙輸送インフラの構築を目指している。</p> <p>開発中の機体：宇宙飛行機／スペースプレーンは、有翼の航空機スタイルで、既存空港から離発着する。最大の特徴は、ジェットエンジンとロケットエンジンの機能を併せ持つ「燃焼モード切替エンジン」。(世界初) これにより、離陸から宇宙空間での飛行、着陸まで、単一のシステムで、かつ繰り返し使用することが可能となる。(完全再使用型)</p> <p>同社は、2016年10月、宇宙旅行・宇宙輸送実現にむけて(株)エイチ・アイ・エス、ANA ホールディングス(株)と資本提携を行った。</p>

スペースリンク株式会社	スペースリンク株式会社は、宇宙向け技術開発で培った先端技術をベースに、現在は地上向けアプリケーションに注力。主な事業は、カーボンナノチューブを活用した次世代蓄電デバイス、測位を安定的に低コストで行うことが可能なマルチ GNSS 受信機を活用した高精度測位システムの2つ。これまで何度も、JAXA や NEDO の公的資金獲得の実績があり、近年ではリアルテックファンドからの資金調達にも成功。
株式会社 QPS 研究所	株式会社 QPS 研究所は、「宇宙の可能性を広げ、人類の発展に貢献する」をミッションに掲げ、九州大学の名誉教授陣と若手技術者・実業家が幅広い経験と斬新なアイデアをもとに、世界トップレベルの衛星情報ビジネスを創造するベンチャー企業。世界初で開発した 24 時間、全天候型小型レーダー衛星を 36 機打ち上げることにより、世界中のほぼどこでも好きな場所を平均 10 分以内に撮影することのできる世界を構築し、更に定点観測で蓄積した画像データを分析することで地球規模で未来を予測し、社会の効率化に貢献することを目指す。2017 年 11 月に産業革新機構、未来創生ファンド等から 23.5 億円を調達。

19:30~20:00 写真撮影、ラウンドテーブル、名刺交換会
20:05 閉会